| | |
|---|---|
| 事例No. | 2618 |
| 公表年度 | R5 |
| 団体の属性 | その他 |
| 団体名 | 一般社団法人三國會所 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 地域活性化 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・観光<br>・関係人口<br>・公共施設活用 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 地域活性化 |

事例内容・タイトル

一般社団法人三國會所

出典

平成28年度ふるさとづくり大賞事例集

## 社会福祉法人　佛子園「シェア金沢」　石川県金沢市

### 概　　要



社会福祉法人佛子園では、広大な国立病院跡地に、障害者、健常者、若者、高齢者が分け隔てなく一緒に暮らせる“ごちゃまぜ”の街を目指して「シェア金沢」を整備した。街の設計段階から、人と人との関わりが生まれる仕掛けを、ハード（施設）・ソフト（運営）の両面で慎重にデザイン。

シェア金沢の「街開き」以降、住民間、また住民とシェア金沢のある田上（たがみ）地区の方々との間で、自発的・自然発生的な繋がりが日々生まれ、地域全体が“ごちゃまぜ”に深化。

### 評価された点



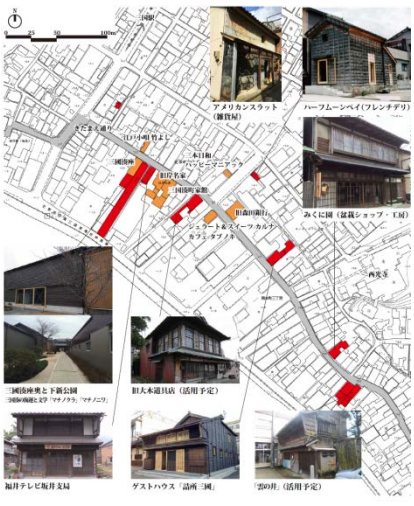

・障害者、健常者、高齢者、若者が一緒に暮らせる街づくりのモデルケース。「ごちゃまぜ」のコンセプトが判り易い。
・色んな人が集まることで起きる”化学反応”をうまくまちづくりに活かしている。オープンから２年で住民が倍増するなど、成果が表れており、今後も、新たな展開が期待される。
・住民が一緒の空間で、自分たちができることで支え合えている。福祉施設に頼るのではなく、自立できる仕組みを構築し、誰もがそれぞれのやり方で地域に貢献している。
・地域社会の後のキーワードはシェアである。民間の福祉団体が、エリアマネージメントした事例で興味深い。
・ダイバーシティを重視したまちづくり。
・様々な施設や店舗を町中に取り込み、分け隔てのないコミュニティを形成している。これからのまちづくりにおける一つのあり方として評価。

## 一般社団法人三國會所　福井県坂井市

### 概　　要



当団体は、北前船交易で栄えた歴史をもつ三国町旧市街地「三国湊（みくにみなと）」を拠点に、１５年以上まちづくり活動を実施。平成２５年度から新たに「三国湊町家活用ＰＲＯＪＥＣＴ」をたちあげ、観光誘客と商業再生、町家・街並・歴史文化遺産の保全と継承を目的に、地元住民、行政、大学生など多様な組織と連携し、三国湊特有の建築様式かぐら建ての町家を含む空き家リノベーションを通して、歴史を活かした地域づくり、人口減少対策、観光振興、景観保全、自主財源の確保を実践。




### 評価された点

・三国で６軒の空き家が活用されており、これからを更に期待したい。古い建物を直すのはお金がかかるため、協力体制が必要不可欠。
・貴重な建築資源の空き家再生や活用法等、継承のための多様な工夫をこれまでも重ねており、新たな取り組みも更なる活動強化として、自主財源化等努力の積み重ねを評価したい。
・有名人とのつながりをうまく活用して町家を改修しており、ゲストハウスなどの誘致を展開して成果を上げている。長い間続いていることも評価できる。